



“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

# THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE WEST

神戸西ワイズメンズクラブ

CHARTERED May 14th 1961

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

■事務局 神戸市立たかとり児童館（運営：社会福祉法人神戸 YMCA 福祉会）  
〒654-0037 神戸市須磨区行平町 2-2-17 TEL/FAX: 078-735-6230

2023年5月号

## 【主 題】

**国際会長 Samuel Chacko(インド)**

主 題 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

“Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”

スローガン 「自分を超えて、変化を起こそう」 “BEYOND SELF and BE THE CHANGE”

**アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen(台湾)**

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 “Elegantly Change With New Era”

スローガン 「今すぐ実行を」 “Do It Right Now”

**西日本区理事 田上 正(熊本むさしクラブ)**

主 題 「原点を知り将来に生かす！」 Know the origin and utilize it in the future!

副 題 「立ち上がれワイズ モットーと共に！」 Standup Y's Men with our Motto !

**六甲部部长 若林 成幸(宝塚)** 主題 「With Corona の新しい日常、バトンを繋いで延ばす貢献寿命！」

**クラブ会長 柳 敏晴** 主題 「温故知新」 Visiting old, learning new.

「タラントに 応じて」 Befitting our station.

西日本区強調月間 5月は『Youth Involment Activities』の月です。

将来のワイズメンズクラブとYMCAのためにユースの活動を支援しましょう。

清水 淳 Yサ・ユース事業主任(とやまクラブ)

〈今月の聖句〉

「民衆が皆、夢中になってイエスの話に聞き入っていたからである。」

(ルカによる福音書 19章48節)

## 5月例会のお知らせ

日 時 5月16日(火) 午後7時~8時30分

場 所 新長田、細田地域福祉センター

内 容 「サッカーの魅力」

スピーカー 林 啓司氏(兵庫県サッカー協会  
会長)

会 費 2,000円

## 5月生まれのお誕生者

1日 加茂周治 メン

16日 野口善國 メン

おめでとうございます!

## 4月データ

在籍会員数 11名

例会出席者数 9名

うち会員数(事務例会含む) 8名

会員出席率 72.7%

メネット・コメント数 0名

ゲスト・ビジター数 1名

## ファンド(今月までに寄せられた金額)

・ Yサ・ユース 22,000円 ・FF 1,500円

・ CS 7,500円 ・BF 4,500円

・ TOF 3,000円 ・YES 1,500円

・ ロールバックマラリア 2,000円

・ 災害支援 9,000円      **ファンド合計 51,000円**

## 聖書の小窓 「夢中になって」

西日本区チャプレン 立野 泰博

イエスは神殿の境内で民衆に教えておられました。民の指導者たちはイエスを殺してしまおうと計画しています。しかしできませんでした。なぜか？それは「民衆が皆、夢中になってイエスの話に聞き入っていたから」でした。聖書の中で「夢中」とい言葉が使われているのは、ここしかありません。「何かに夢中になると免疫力があがる」という話をきいたことがあります。ある研究者がその実験をしたそうです。日頃からプロ野球でひいきのチームをもって夢中になって応援する人を、各チームから10名ずつ選び、試合を観戦して試合後に採血検査をする。これを繰り返し調査したそうです。するとチームの勝ち負けに関係なく、夢中になって応援したファンの免疫力が増しているという結果がでたそうです。つまり、夢中になることで人は免疫力がアップするというのです。みなさんはいま「夢中」になっているものがありますか？

民衆が「夢中」になってイエスのみ言葉聞いている。このイエスの言葉には力がありますから、夢中になって聞いた民衆が救われるのは当然のことです。命の免疫力をアップしたいなら「夢中」になることを探すことです。ワイズ活動に夢中になることなどはいかがですか？

### 4月例会報告

日 時 4月18日(火) 午後7時～

内 容 「神戸いのちの電話の現状と課題」

お 話 宮里哲秀氏(事務局長)

出席者 上杉 徹、大田厚三郎、岡山泰典、加茂周治、坂本滋、阪本龍太郎、野口善國、水野宏明、柳 敏晴

場 所 新長田、細田地域福祉センター



### 感想

「他人の想いにふれて、それをじぶんの理解の枠におさめようとしない」神戸西クラブが長年支援を続けている『神戸いのちの電話』の事務局長の宮里哲秀さんをゲストスピーカーに迎え、神戸いのちの電話の相談員が大切にしている「無心に耳を傾ける」ことの重要性を鷺田清一さんの『大事なものは見えにくい』の文章を通して学ばせていただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年、芸能人の自死が続き、テレビ等でも「いのちの電話」の紹介がされていたこと。緊急事態宣言等で相談時間も制限される中、途切れることなく相談業務、新規ボランティアの養成と研修等を行ってきたことが語られました。コロナの影響により若い女性の「自殺」の件数が増え、十代を始めとする若年層の死因の第1位も、この数年変わらず「自殺」となっている時代、社会が分断され、孤立する中で『話を聴いて欲しい』という方は減少していないこと、ポストコロナの時代においても大切な役割が続いていく事をメンバーと共に学ぶひと時となりました。

(上杉 徹)

## お知らせ・ご報告

### 〔神戸西クラブ関係〕

#### ▽5月例会

日 時 5月16日(火) 午後7時～8時30分

場 所 新長田、細田地域福祉センター

内 容 「サッカーの魅力」

スピーカー 林 啓司氏(兵庫県サッカー協会会長)

林さんは根っからのサッカー好きで、高校時代は兵庫県選抜にも選ばれたほどの選手でした。県立高校の校長先生を退職し、現在は大学で勤務しておられますが、兵庫県のサッカー協会の会長という大きな働きもされておられます。今回はご自分の経験や現代サッカーの様々な魅力についてお話を伺いたいと思います。

会 費 2,000円

#### ▽5月事務例会

日 時 5月23日(火) 午後6時30分～8時

場 所 新長田、細田地域福祉センター

#### ▽6月例会

日 時 6月20日(火) 午後6時30分～

場 所 うめえや(新長田)

年度末の評価会と合わせて、担当主事交代による坂本滋さんへの感謝と新担当主事水野宏明さんの、歓送迎会を計画中です。ご予約いただき是非ご参加ください。

### 〔六甲部関係〕

#### ▽宝塚クラブ主催『子どもたちの平和な未来を考える』

日 時 5月21日(火) 午後2時～4時

場 所 宝塚ソリオホール(阪急宝塚駅 隣接)

内 容 第1部 お話「弓狩匡純氏(作家 ジャーナリスト)」

第2部 広島の平和創作劇・ミュージカル [I PRAY]

\*チケット必要な方は柳迄

#### ▽六甲部役員引継ぎ会

日 時 5月13日(土) 午後5時30分～7時

場 所 神戸YMCA 三宮会館

#### ▽六甲部評議会

日 時 7月15日(土)

場 所 神戸YMCA 三宮会館(予定)

### 〔西日本区関係〕

#### ▽第26回 西日本区大会

日 時 6月9日(金)～11日(日)

場 所 熊本城ホール

出席予定者 大田厚三郎、加茂周治、柳敏晴

## 〔YMCA 関連〕

### ▽ 神戸 YMCA イースター早天礼拝

4月9日(日)午前7-8時神戸YMCAチャペルで、「復活する」と題し、水野宏明さん(神戸YMCA ミッション委員会担当主事、4月より神戸西Y's担当主事)奨励でイースター早天礼拝が持たれました。このイースター早天礼拝は、1922(大正11)年4月に諏訪山金星台で持たれた復活祭早朝讃美礼拝として始められたものです。YWCAとYMCAの共催で行われていましたが、コロナ禍の影響で実施されていなかったものです。久し振りに対面で実施され、イースターを祝うことができました。

(柳敏晴)

### ▽ 神戸YMCA創立137周年記念礼拝

日時 5月13日(土)午後3時~5時30分  
場所 神戸YMCA三宮会館チャペル

## 会計からのご連絡

\* 例会時に会費、諸ファンドの納入をお願いします。

◎ 郵便振込もできますのでご利用下さい。会費についてのご相談は、加茂ワイズまで

記号 14330 番号 8046701 口座名義 神戸西ワイズメンズクラブ

▽ 神戸いのちの電話相談員の皆様が大切にされている「無心に耳を傾ける」文章を掲載します。

「人を理解するということ」(驚田清一著「大事なものは見えにくい」より)

まず、分かる、理解するというのは、感情の一致、意見の一致をみるということではないということ。むしろ同じことに直面しても、ああこの人はこんな風を感じるのかというように、自他のあいだの差異を深く、そして微細に思い知らされることだということ。いいかえると、他人の思いにふれて、それを自分の理解の枠におさめようとしなないということ、そのことで人は「他者」としての他者の存在に接することができる。ということは、他者の理解においては、同じ思いになることではなく、自分にはとても了解しがたいその思いを、否定するのではなくそれでも了解しようと想うこと、つまり分かろうとする姿勢が大事だということである。そして相手には、そのなんとか分かろうとしていることこそが伝わるのだ。つまり、言葉を受けとってくれた、という感触のほうが、主張を受け入れてくれることよりも意味が大きいのである。言っていることが認められたというよりも、言った言葉がそのまま受け入れられた、それがそれとして肯定されたという感触がたいせつなのだとおもう。じっさい、ひとには、それが自分にとって重大であればあるほど「わかられてたまるか」という思いがある。大事なことをかろうじてぼつりぼつりと口にしたときに、「その気持ち、分かります」などと言われれば、かえって「何が分かったの?」と言ってしまひもする。